名和内科・巣南リハビリセンター 広報誌「清（さや）」

SAYA

2023 JANUARY Vol.8

住宅型有料老人ホーム　グランフォート清流

岐阜清流病院 広報誌「清（さや）」

SAYA

2023 JANUARY Vol.8

岐阜清流病院　アスリートの仲間たち

SPECIAL TALK VOL. 8

伝承すること、未来へつなぐこと

岐阜和傘の伝統を引き継ぐ和傘職人、
名和内科・巣南リハビリセンターを先代から引き継ぐ医師のスペシャルトーク!

身近な方々を診させていただく幸せ

100年後もこの和傘を残していきたい

田中美紀さん

PROFILE プロフィール

1979年生まれ。愛知県立大学スペイン学科卒業。
卒業後から和傘問屋にお世話になり、独り立ち後に「髙橋和傘店」を開業。和傘の製造、卸を行う。
一般社団法人岐阜和傘協会理事、エゴノキプロジェクト実行委員会事務局長。

千田美穂子 医師

PROFILE プロフィール

1970年生まれ。1995年金沢医科大学卒業。
岐阜大学医学部第二内科入局後、澤田病院内科勤務を経て2006年名和内科院長、巣南リハビリセンター施設長に就任。
日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医。

現在の職業を引き継ぐことになったきっかけについて教えてください。

田中：大学時代に海外へ行った時に、現地の方が自国の文化や歴史を誇りに想っているのに対し、私は日本について何も語ることができなかったという経験がありました。それがきっかけで日本という国をもう一度見つめ直すことになり、生まれ育った岐阜で和傘と出会いました。

千田：それは運命的な出会いですね。私の場合は父が診療所を経営しておりましたので、自然に医師を目指すことになったのですが、田中さんの場合は女性でもありますし、伝統文化の中に入っていくのは大変な部分があったのではありませんか?

田中：そうですね。私は岐阜市の加納地区にある百年くらい続く老舗の傘屋さんの門を叩いたのですが、やはり最初は断られました。入った後も昔ながらの職人さんの世界ですから、和傘をずっと繋いできた人達と信頼関係を築くのに随分時間がかかりましたね。

千田：田中さんの本気具合が試されていたんですね。

田中：はい。職人さんたちが長い時間をかけて培ってきた技術ですから簡単には教えられないし、簡単には信用できないという部分はあったように思います。千田先生も診療所を引き継ぐという部分で苦労されたこともあったのでは?

千田：そうですね。私の場合は父ががんになったことが名和内科を継ぐきっかけになったのですが、ちょうどそのタイミングが出産や子育てと重なっていたのです。父の病状が進行していく不安の中で、やるべきことがたくさんあって本当に大変でした。ただ、ありがたいことに家族をはじめ、一緒に診療している横山仁美医師のサポートもあり(私の最強のパートナーです!)、なんとか引き継ぐことができました。支えていただいた皆さんには本当に感謝してます。

田中：周りの方の支援というのは本当に心強いですよね。私自身も、髙橋和傘店を開業した矢先に子どもを授かりまして。家族の支援をはじめ、周りの人の支えが大きかったと感じています。

伝統や事業を継承する際に大切にされていることは?

田中：和傘を100年後も残していくためにはやはり材料を確保していくことがまずは必要だと感じます。ですから、材料になる木を守るプロジェクトに積極的に関わっています。

千田：エゴノキですか?

田中：はい。庭木としても植えられている木で、可愛い花が咲きます。でも材料として使用するエゴノキは、真っ直ぐ伸びた節のないものでないといけないので、温度や標高が適した山林で、真っ直ぐ伸びていくための環境を管理することが大切です。材料になるまでに10～15年かかるので、地域の方々を巻き込みながら活動を維持しようとしています。

千田：地域の方と一緒にというのが素敵ですね。

田中：はい。美濃の山でとったエゴノキの苗を岐阜市加納にある小学校の児童に育ててもらい、また山へ帰す取り組みを始めました。郷土への想いや誇りの醸成を促しながら、伝統を守っていくことの大切さを感じてほしいと思っています。診療所も地域と密接にかかわる仕事だと思うのですが千田先生はいかがですか?

千田：私が父の仕事を引き継いだとき一番心配だったのが、それまでの患者さんとの信頼関係も引き継げるかという点でした。生前、父から「離れていく患者さんもみえるだろうけど心配することはないよ。」と言ってもらって気持ちが楽になったことを覚えていますが、やはり父がそうしていたように、かかりつけ医というのは患者さんにとって「自分のことを何でも分かってくれている安心できる場所」でありたいと思います。

田中：いいですね。地域の中でお互いに必要とされて共生していくイメージですね。和傘もその材料や職人さんが共生できたから岐阜に長く根付いてきました。たくさんの関わりからようやく1本の和傘が生まれます。

千田：周りの皆さんに感謝しないといけませんね。

今後の目標や抱負について教えてください。

田中：できるだけ多くの方に和傘を知っていただくために、より多くの傘を作っていく環境を整えていきたいと思います。岐阜和傘が令和4年3月に経済産業大臣指定伝統的工芸品に指定されたこともあり、岐阜和傘協会の一員としても岐阜から全国に和傘を届けていきたいと思います。

千田：私は身近な方々を診させていただいていることに幸せを感じているので、かかりつけ医としての活動はこれからも続けていきたいと思います。また、最近は対外的な仕事も増えてきましたので、公的な立場での活動を活かして地域への恩返しをしたいと思います。

インタビューの様子は動画でもご覧いただけます

岐阜清流病院
No.8
新任ドクターのご紹介！

TEAM SEIKOUKAI

清光会グループで活躍中のスタッフを紹介します！

NEW

田中俊樹（たなかとしき）

診療科／循環器内科

2022年６月入職

2002年3月に岐阜大学医学部を卒業した後、岐阜市民病院、岐阜大学医学部附属病院に勤務しておりました。同院では、循環器疾患を中心として心臓カテーテル治療などの高度な治療も行いつつ、一方で専門性なく多くの内科的疾患の治療に携わってまいりました。これまで20年間の診療経験を活かし、全身を診ることができる、皆さんの内科的ないわゆる「何でも屋」として、また、カテーテル治療ができる循環器専門医として末永くお付き合いできますよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

矢野高（やのこう）

診療科／緩和ケア

2022年７月入職

NEW

生化学研究者（7年間）、脳神経外科医（20年間）を経て緩和ケアに従事しています。緩和ケアは、主にがんの患者さんが痛みや呼吸苦といった症状に悩まされず、穏やかに過ごすことができるようにサポートするケアです。患者さんをサポートするためには私自身が愉しく日々を過ごすことが大切だと考え、小さな旅をしたり、クラシックコンサートを聴きに行ったり、読書をしたりと自分自身の時間を持つようにしています。堂場瞬一の警察小説、スポーツ小説をよく読みます。最近は旅先で目についたお守りを衝動買いするのも楽しみです。よろしくお願いいたします。

NEW

石丸大地（いしまるだいち）

診療科／整形外科

2022年10月入職

松本和先生の指導の下、膝関節疾患を中心に整形外科診療を行っています。膝関節以外にも患者さんの痛みや怪我に対して症状緩和や根本原因を改善するアプローチを患者さんと一緒に行いたいと考えています。

趣味はサイクリングで休日は岐阜の山間部を巡っています。膝に負担が少なく、下肢筋力を維持できる良いエクササイズですので、膝に不安のある患者さんにもお勧めです。時々、岐阜清流病院のジャージを着てサイクリングしていることもありますので、見かけたらお声がけください。

石村恵美（いしむらめぐみ）

診療科／消化器内科

2022年９月入職

NEW

長年関西方面で働いており、岐阜に戻ってくるのは約20年ぶりです。すっかり様変わりしたところもあれば、記憶の中と違わぬ風景も残っていたりして、新鮮な驚きと懐かしさを交互に感じています。

岐阜清流病院に入職する前は、大阪で訪問診療に携わっておりました。退院後の皆さんの生活をサポートしてきた経験を生かして、皆さんが安心して住み慣れた環境に戻れるお手伝いをさせていただければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

巣南リハビリセンター
No.8
言語聴覚士
田中実沙（たなかみさ）（右）
市川華織（いちかわかおり）（左）

●言語聴覚士とは

話す・聞く・食べるなどのリハビリテーションを行う専門職です。具体的には、言語・聴覚・発声、発音、認知、嚥下（飲み込み）などの機能を回復するために医師の指示に基づき、検査・評価を実施し、必要に応じて指導・助言やリハビリテーションを行います。

●訓練内容

▶言語訓練

脳に障害を負ったことにより上手く言葉が出てこなかったり話が理解できなかったりする失語症の方に対し、言葉を話す、文字を読んで理解する、文字を書くなどの訓練を行います。

▶構音訓練

言葉を話すために必要な口唇や舌などが麻痺等の影響で呂律が回りにくく、発声・発語がはっきりしないなどの症状がある構音障害の方に対して、口が動かしやすくなるようにする、はっきり話せるようになるための訓練を行います。

▶高次脳機能訓練

注意・集中、記憶、視覚・聴覚認知などが難しくなった方に対して、日常生活動作がスムーズに行えるように訓練・指導を行います。

▶嚥下訓練

飲んだり食べたりすることが難しくなる嚥下障害の方に対して、噛む力や飲み込む力の改善を目指したり、食べ物を細かく切ったり水分にトロミを付けるなどの指導も行っています。

●嚥下チーム

巣南リハビリセンターでは、ご利用者さんが誤嚥なく安全に食事が摂れるように「嚥下チーム」という専門チームを組み、食支援に取り組んでいます。

嚥下チームは食べる機能の回復や誤嚥予防、日常生活における活動性の向上を目的とし、栄養状態や食物の形態、口腔の状態などを評価し、多職種で連携しながら治療や訓練を行っています。

●私たちの目指す言語聴覚士

リハビリを行ううえで大事なことは病気や状態はもちろんのこと、ご利用者さんのこれまで生きてこられた人生を理解することが大切だと思っています。そのためにご利用者さんとご家族の思いに寄り添うことができるよう心掛けています。また食べる事は生きていく上で楽しみの一つだと思います。今まで口から食べることができなかったご利用者さんが、訓練を通して食べることができるようになり、「おいしい!」と召し上がる笑顔は忘れられません。最後まで口から食べるという楽しみを残せるように頑張りたいと思います。

SEIKOUKAI NEWS

岐阜清流病院に関するニュースをお届けします！

岐阜清流病院　看護部

2022年10月

医療法人清光会のスポーツユニフォーム完成！

11/20 神戸マラソン完走しました！

11/13 いびがわマラソン

マラソンや自転車などスポーツを楽しむ職員向けに、清光会オリジナルユニフォームを作成しました。競技イベントや大会にユニフォームを着用して参加しています。一体感が増し、チーム力がアップ！ ユニフォームを見かけたらぜひ声援をお願いします。

10/10 みずほヴェロフェスタ

10/16 せきサイクルツーリングin板取川

11/20 ぎふしんウィメンズラン

漢方コラム　第4回　やせ薬ってあるの？

記事執筆　診療部長　越路正敏先生

天高く馬肥ゆる秋さらに正月を迎えると、糖尿病の人のHbA1c(およそ1ヵ月の平均血糖値)が高くなりがちです。皆さんもこの頃、体重が増えることはよく経験されているのではないでしょうか。体重が増えるというのは、まずは、余分なカロリーが、脂肪細胞とくにお腹にある内臓脂肪に蓄えられたのです。この内臓脂肪が曲者で、メタボリック症候群の元凶となっています。内臓脂肪から様々なサイトカインと呼ばれる物質が放出され、それらが血圧上昇、脂質異常、耐糖能異常などを引き起こし、生活習慣病と呼ばれる動脈硬化を引き起こす疾患を誘発させています。

さて、肥満や体重をなんとかしたいと言って、漢方外来を訪れる患者さんがいます。なかでも有名な漢方薬は、防風通聖散という薬です。お腹が内臓脂肪でパンパンになっている人にうってつけといえます。防風通聖散は、大黄という生薬が少量含まれており、便秘にも適応があります。便がスッキリ出て、体重が減るのでは、という想像もできますが、この本来の機序は、内臓脂肪を減らすことにあります。これまでの実験で防風通聖散は、脂肪細胞のうち、褐色細胞の活性化をもたらすことが分かっています。このことは、ヒトが生きていくうえで必要なエネルギーである基礎代謝を上げることになります。ですから同じ生活スタイルをしていれば基礎代謝が上がる分、エネルギーが消費されるので、体重減少しやすくなるということです。薬を飲んでいるからといって、これまで以上に飲んだり食べたり、或いは運動をしなくなってしまえば、まったく痩せることはできません。

同じ肥満でも、水太りタイプには、防己黄耆湯という漢方薬が適合します。

自分がどのタイプか、見極めることによって、より良い効果をあげられるのが漢方です。

【漢方外来／越路医師】第1～4金曜日 14:00～16:00 ※完全予約制

岐阜清流病院　岐阜県岐阜市川部3丁目25番地　TEL:058-239-8111(代)

SEIKOUKAI NEWS

名和内科・巣南リハビリセンター・清流ぷらす・グランフォート清流に関するニュースをお届けします！

LINE　清光会

2022年10月

住宅型有料老人ホーム「グランフォート清流」オープン！

24時間365日、介護に熟知した職員が常駐し、ご入居者の皆さんの体調確認や思いがけない事態に対応いたします。また一人暮らしの方、医療ケアが必要な方、車いすが必要となった方、寝たきりとなった方も安心して入居していただけるよう、きめ細かい介護サービスを提供いたします。

お一人お一人に寄り添い、生活サポートから医療・介護のバックアップまで幅広くご入居者さんを支えております。お近くへお越しの際はぜひお立ち寄りください。

施設長　榎田憲吾

お問い合わせ
入居定員：30名(夫婦部屋含む)
住　　所：瑞穂市本田908-1
電　　話：058-329-5001

清流ぷらす通信　生活応援マーケットを開催しています

『清流ぷらす』では月に一回、家庭で眠る不要品、ボランティアさんが作るリサイクルハンドメイド品やお菓子、地元の方が作り過ぎて余った野菜などを販売する「生活応援マーケット」を開催しています。いつもご利用されている常連の方だけではなく、口コミによりはじめて来所される方々にもご好評をいただいています。

11月からは、瑞穂市社会福祉協議会の福祉作業所「すみれの家」のお菓子や「豊住園」のお弁当なども販売しています。このイベントは、SDGｓ(持続可能な開発目標)の目標の3「すべての人に健康と福祉を」、11「住み続けられるまちづくりを」にも繋がる活動であると考えています。

地域の皆さんの楽しみや喜びの場を提供するだけではなく、ボランティアさんの活躍の場づくりや地域福祉への協力を通じて、誰もが住みやすいまちづくりに参画していくことも、地域交流施設「清流ぷらす」の役割です。

MIZUHO SDGs　3 すべての人に健康と福祉を　11 住み続けられるまちづくりを

医療法人清光会 名和内科　岐阜県瑞穂市重里2005　TEL:058-328-3311
巣南リハビリセンター　岐阜県瑞穂市重里1996　TEL:058-328-3387
清流ぷらす　岐阜県瑞穂市別府1227番地1　TEL:058-216-6360